

科目名	社会学概論	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	心理臨床<関連> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	社会学は、普段は意識しない「日常性」の中に、人と人のつながり、個人と社会の関係、個人と集団の関係、社会秩序など人間社会を形づくっているものを探る学問である。講義では、医療・福祉・教育など人と人が関わりあう活動領域で有効かつ必要な、社会的なものを見方を取り上げ、考えてもらう。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な事柄について、個人的なことと社会との結びつきを認識できる。 ・ 「日常生活の自明性」を再考する発想ができる。 ・ 前近代から近・現代社会への変化のすう勢を理解できる。 ・ 数値データを読み取り、その背後にある社会事象を推測し、それを適切に、説得力をもって言語表現できる。
授業計画	(1) イントロダクションー社会学への招待 (2) 社会現象としての「わたし」意識 (3) 自己理解・他者理解としての「役割」現象 (4) 集団一人と人のつながりの多層性 (5) 近現代社会における集団と個人 (6) 高度発達した官僚制組織と脱官僚制化の動向 (7) 職業社会学1ー現代社会における職業労働の特質ー (8) 職業社会学2ー職業の多様性・働き方の多様性ー (9) 職業社会学3ー現代社会の特徴的職業：ヒューマンサービス職ー (10) 家族社会学1ー社会の変化と連動する家族の変化ー (11) 家族社会学2ー多様化する家族の意識、家族のかたちー (12) 現代日本の「格差社会」化と家族関係、労働関係 (13) 「格差（拡大）による貧困化社会」の現代日本1 (14) 「格差（拡大）による貧困化社会」の現代日本2 (15) 総まとめー何が「社会」を秩序立てているのか	
自学自習	事前学習	意味の分からない用語、指示する用語は事前に調べておくこと。
	事後学習	毎回、授業冒頭に前回授業の復習小クイズを行うので、よく復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【参】 野村一夫『社会学の作法・初級編』文化書房博文社、1999年 飯田哲也編『基礎社会学講義』学文社、2002年 長谷川公一他編『社会学』有斐閣、2007年	
成績評価方法と基準	<方法> 定期筆記試験70% / 課題レポート20% / ワークシート10% <基準> 科目の到達目標を重視する。到達していない者は不合格となる。	
備考	表データを読んだのレポートを課す。レポートは添削して返却するので、受講生は必ず再提出すること。	